

「大腸がん検診」について知っていますか？

大腸がんは死亡原因の上位に位置するがんで、罹患する人は40歳代から増加します。

40歳になってから1年に1回便潜血検査を受けることで、がんの早期発見・早期治療につながり、大腸がんで亡くなることを防ぐことができます。



血便・腹痛、便の性状や排便の回数に変化したなどの症状がある場合には、検診ではなく、すぐに医療機関を受診してください。

検診方法

便潜血検査



2日分の便を採取し、便に混ざった血液を検出する検査です。通常は微量で目に見えませんが、がんやポリープなどの大腸疾患があると大腸内に出血することがあり、その血液を検出します。

大腸がん検診で「要精密検査」と診断された場合…

必ず精密検査を受診しましょう！

早期の大腸がんは自覚症状がないことが少なくありません。もともと痔がある場合でも、痔が原因による出血か、大腸がんやポリープによる出血かは、精密検査をしないとわかりません。「症状がないから大丈夫」などと自己判断せずに、必ず精密検査を受けましょう。

⚠ 便潜血検査をもう一度受けることは、精密検査の代わりにはなりません。



＜一般的な精密検査の方法＞

○全大腸内視鏡検査

下剤で大腸を空にした後に、肛門から内視鏡を挿入し、直腸から盲腸までの全部位でがんやポリープの有無を確認します。必要に応じて組織を採取し、悪性かどうか診断します。

○大腸のX線検査(大腸内視鏡との併用)

大腸全体を内視鏡で観察することが難しい場合には、内視鏡が届かない奥の大腸をX線検査で調べます。下剤で大腸を空にした後に、肛門からバリウムを注入し、空気で大腸を膨らませ、大腸全体のX線写真をいろいろな方向から撮影します。

精密検査では、身体状況や年齢によって身体にリスクが生じる恐れがあります。ご心配な人は、がん検診受診前に医師とよく相談し、精密検査の実施の可否を含めてがん検診を受診するようにしましょう。



がん検診を正しく受けるためには、「がん検診を正しく知る」ことが大切です。

四日市市のホームページでがん検診についての動画を公開しているので、ぜひご覧ください。



四日市市のみなさまへ
がん検診のお知らせ

URL : <https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1698286201303/index.html>

加入保険に関係なく
受けていただけます

職場でがん検診を受ける機会がない人、ご家族へ
「市のがん検診」をご利用ください！

- ★胃がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、肺がん・結核検診を実施します。
- *子宮頸がん検診と同時に、一定年齢の人に対し、HPV 検査（ヒトパピローマウイルス検査）を実施しています。
- ★バスによる地区巡回検診や医療機関での検診があります。
- ★詳細は、広報よっかいち4月下旬号と同時配布の「令和6年度 がん検診のお知らせ」やホームページ等ご覧ください。
- ★インターネットから24時間お申込み可能です。
- ★市が対象年齢に配布している無料クーポン券などは、職場の検診で併用できる場合があります。詳しくは職場の担当部署にお問合せください。
- ★市外の方はお住まいの自治体にお問合せください。

がん検診申込みフォーム

